

---

# 日本水大賞

2008日本ストックホルム青少年水大賞

---

## 受賞者へお祝いの言葉

---

# 受賞者へお祝いの言葉

## 祝 辞

第10回「日本水大賞」において、熊本市におかれましては、栄えあるグランプリ「大賞」を受賞されましたことについて、こころからお祝いを申し上げます。

地球規模の気候変動の影響で、世界的に水資源の枯渇が一層深刻化しつつあり、諸外国では、水を戦略資源として捉え、思い切った対策が取られておりますが、我が国では、依然として、水と安全は「ただ」と言う感覚もあって、まだ、差し迫った危機感が希薄と思えてなりません。

こうした中で、熊本市は、上水道水源を全て地下水で賄う日本一の地下水都市として、大切な地下水を守るため、地下水保全条例の制定や水田湛水による地下水涵養事業、水遺産の登録制度等水循環型の社会づくりに向け、周辺の市町村、企業や住民と一体となった先駆的な取組を進めてこられたことが今回の受賞につながったものと思います。

全国有数のナチュラルミネラルウォーターの宝庫である本県としても、危機感を持って、貴重な戦略資源である「水」を「保全し」、「活かし」、そして将来に「引き継ぐ」ための取組を全県下で進めておりますが、熊本市におかれましては今回の受賞を契機に永年培われた水管理の理念やノウハウを県下全域の取組にも広く周知していただく等、他の模範となる活動を更に進めていただきますよう期待申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

平成20年6月12日  
熊本県知事 蒲島 郁夫

## 第10回「日本水大賞」 国土交通大臣賞 知事祝辞

ねや川水辺クラブの皆様、第10回「日本水大賞」国土交通大臣賞の受賞おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

このたびの受賞は、ねや川水辺クラブが、長年にわたり継続している「寝屋川再生プラン」の実現に向けた河川清掃や、地元住民とも連携した地域コミュニティの再生など、幅広い活動が高く評価されたものです。

その中でも、点野茨田の樋遺跡水辺公園は、計画段階のみならず、市民がその後の整備工事にまで参画し、行政と共に工事を施工する「市民公共工事」という新しい形により実施されたものです。

現在、大阪府におきましては、水と光で大阪が世界一の水都になるよう、水都再生に取り組んでいます。その実現には多くの関係者の協力が不可欠であることから、ねや川水辺クラブの活動は今後の官民協働のモデルの一つとして大いに参考となるものであります。

今後とも、ねや川水辺クラブの皆様のますますのご活躍をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成20年6月12日  
大阪府知事 橋下 徹

# 受賞者へお祝いの言葉

## 第10回「日本水大賞」受賞者への祝辞

NPO法人カラカネイトンボを守る会の「第10回日本水大賞・環境大臣賞」の受賞に対し、心からお祝いを申し上げます。

このたびの受賞は、札幌市内に残った唯一の湿原である「篠路福移湿原」の環境及び動植物の調査・研究をはじめ、湿原の重要性を学ぶ「トンボの学校」などでの観察会やパネル・写真展の開催や、ナショナル・トラスト運動の推進など、多岐にわたる活動を通して、小中校生や地域住民が協力し合い、湿原保全の活動を長年にわたって継続されてきた点が高く評価されたものです。

道におきましても、みどりが広がり、多様な生き物が棲み、人々が親しみやすい「生きている川づくり」の推進しているところであり、このような地域の方々の活動を通して、更に環境保全活動の輪が広がっていくことを大いに期待しています。

終わりに、関係者の皆様のご尽力に敬意を表しますとともに、今後ますますのご活躍をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

平成20年6月12日  
北海道知事 高橋 はるみ

## 第10回日本水大賞 厚生労働大臣賞 受賞祝辞

京都府立木津高等学校化学クラブの皆様、栄えある「第10回日本水大賞厚生労働大臣賞」の受賞、おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

木津高等学校がある木津川市は、京都府南部の山城地域に位置し、奈良時代から平城京造営の木材陸揚げ港として栄えてきたところです。貴クラブが活動のフィールドとされている木津川は、良好な水環境に恵まれ、カヌーや水辺のキャンプなどが盛んに行われる自然豊かな河川です。

木津高等学校化学クラブにおかれましては、木津川とその支流において30年以上も前から水質の調査を実施され、その結果を市町村などへ情報発信されるなど、地域と繋がった活動を長年にわたり継続されていることに対して敬意を表するとともに、これからの御活躍にも御期待申し上げます。

京都府からの日本水大賞各賞の受賞は、3年連続となり、水に関する地域の活動が、着実に根付いていることについて心強く思っています。今後とも貴クラブの水に関する様々な調査・研究活動が、今回の受賞を機に、ますます発展されますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成20年6月12日  
京都府知事 山田 啓二

---

# 受賞者へお祝いの言葉

---

## 祝 辞

「第10回日本水大賞・農林水産大臣賞」を受賞された長野県臼田高等学校環境緑地科農業クラブの皆さん、誠におめでとうございます。

皆さんのクラブでは、県のレッドデータブックで絶滅危惧種に指定されている「オオアカウキクサ」の生育環境の調査を行い、その保護と農業利用に関する研究に取り組まれてきました。また、自然生態系の保全に関する連携を目的に地元集落と協定を結び、地域と協働して水環境保全活動も実施されています。今回の受賞は、このような日頃の充実したクラブ活動の中でも、とりわけ「オオアカウキクサ」を肥料として農業に活用できる効果を実証し、環境に配慮した農業の実施へと誘導したことが高く評価されたものです。

県では、「長野県水環境保全総合計画」を策定し、県民・事業者・行政が一体となって本県の清らかで豊かな水環境の保全に努めていますが、皆さんの取組はその模範となるものです。

この受賞を契機として、研究成果が様々な機会において活用されることを期待するとともに、今後のさらなるご活躍をお祈りして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成20年6月12日  
長野県知事 村井 仁

## 祝 辞

「第10回日本水大賞」の各賞を受賞されました皆様、心からお祝い申し上げます。

この度、福岡県からは、福岡県立北九州高等学校魚部が文部科学大臣賞を、また北九州市建設局水環境課ほたる係が審査部会特別賞を受賞されました。

福岡県では、クリーンリバー推進事業として、河川愛護団体等が河川清掃活動を行うときに、様々な支援を行っておりますが、平成17年度からはさらに、川のネットワーク事業を創設し、「ふくおか水もり自慢」、「ふくおか川の大掃除」等のイベントを通して、河川に関わる活動の発表会や河川の一斉清掃を行い、河川愛護意識の啓発、普及に力を入れているところです。

こうした中で、皆様方がこのような栄えある賞を受賞されましたことは、誠に喜びに耐えないことであり、地道に活動を続けておられる他の団体にも大いに励みになることと思います。

福岡県立北九州高等学校 魚部の皆さんには、今後もこの活動を通して、素晴らしい研究、取り組みを世界に発信していただき、また、北九州市建設局水環境課ほたる係の皆さんには、北九州市が名実ともに、人もほたるも世界一すみよい街になるようこれからも邁進していただきたいと思います。

今回受賞された皆様方が、今後ますます発展、飛躍されますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成20年6月12日  
福岡県知事 麻生 渡

# 受賞者へお祝いの言葉

## 祝 辞

このたび「第10回日本水大賞経済産業大臣賞」の栄えある賞をフジクリーン工業株式会社様が受賞されましたことに対し、心からお祝い申し上げます。

経済が発展し生活が豊かになるにつれて、暮らしの様々な場面で水の使用量が増え、これらの生活排水は伊勢湾、三河湾など閉鎖性水域の富栄養化の要因となっており、その水質浄化は喫緊の課題となっています。

こうした各家庭の生活排水を処理する窒素やリン等の栄養塩類を除去する高度処理型小型浄化槽を開発・実用化に導かれましたご尽力に敬意を表しますとともに、本県を含め全国各地で水環境と生態系の回復を目指し、浄化槽の視点から公共用水域の富栄養化を防止するための意識啓発活動を継続的に実施されていることに深く感謝申し上げます。

愛知県といたしましても、平成17年度に水循環再生基本構想を策定し、人と水との豊かなかかわりの回復・創造を目標に、県民・事業者・行政が連携・協働して様々な取組を進めているところです。

この日本水大賞により、水環境問題に関する研究活動が、ますます発展し、我が国の水循環の再生・健全化が進展することを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成20年6月12日  
愛知県知事 神田 真秋

## 祝 辞

「金沢八景ー東京湾アマモ場再生会議」の皆様、栄えある「第10回日本水大賞」の市民活動賞受賞、誠におめでとうございます。

県内における東京湾のアマモ場の多くは消失してしまいましたが、皆様は横浜市の野島海岸や海の公園において、アマモの花枝採取から苗移植までの一連の活動を、県民や企業、大学、行政の協働による市民参加型の活動として、これまで取り組んでこられました。

アマモ場は、「海のゆりかご」として、多種多様な生物の産卵・保育場となる一方、光合成により二酸化炭素を吸収して酸素を発生するとともに、栄養塩を吸収することから海の浄化にも寄与しています。

皆様のご努力もあり、海の公園では、アマモ場が再生されつつあり、多くの魚たちが戻りつつあります。このたびの受賞は、皆様の地道な活動とその成果が高く評価されたものであり、大変嬉しく思っております。

私も今年の5月にアマモ移植会の現場を訪問させていただき、皆様と一緒に海に入り苗を植え付け、また、活動のご苦労や成果についてお話を伺い、大変感銘を受けました。地球環境保全につながる皆様の活動の意義は大きく、県といたしましても、今後の活動に大きな期待を寄せています。

今回の受賞を励みに、今後ますますご活躍されることをお祈りいたしますとともに、活動を支えてこられた関係の皆様のご尽力に心から敬意を表しまして、お祝いの言葉といたします。

平成20年6月12日  
神奈川県知事 松沢 成文

---

# 受賞者へお祝いの言葉

---

## 祝 辞

美浦中学校科学部の皆さん、「第10回日本水大賞・奨励賞」の受賞、誠におめでとうございます。皆さんの科学部は、霞ヶ浦という身近な水環境に目を向け、水質悪化を防ごうと、先輩から後輩へと研究を引き継ぎながら、意欲的に調査活動に取り組んでこられました。このたびの受賞は、継続的な調査を通じて、水質悪化の要因を粒子的レベルで解明することに対する貢献や、自ら設定した課題を自らの力で解決することを目指す活動などが、これからの実践的な科学教育として高く評価されたものと考えております。

県としましても、「泳げる霞ヶ浦」を目指し、霞ヶ関流域の方々と一体となって水質の改善に取り組んでいるところであり、皆さんの活動に大きな期待を寄せております。

今回の受賞を励みに、皆さんのますますのご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成20年6月12日  
茨城県知事 橋本 昌

## 第10回 日本水大賞「奨励賞」受賞 祝辞

第10回日本水大賞「奨励賞」を受賞された日野市及び長年ボランティア活動を続けてこられた市民の皆様へ心からお祝い申し上げます。

日野市内を流れる170kmにも及ぶ用水は、まちの顔として400年を超える長い歴史を有し、現在でも市民に愛され、生活を支える貴重な存在であり、財産ともなっています。日野市と市民の皆様は、この用水の健全化や保全のために「清流保全条例」や今回の「日野市用水守制度」の制定とともに、清掃などのボランティア活動を続けてこられるなど、これまで大変なご尽力をされてきました。

水辺の再生が進んだ日野用水や向島用水などは、自然と触れ合える親水路となり、子どもが自然との関わりを学場となっています。

東京都は、「10年後の東京」で水と緑の回廊で包まれた美しいまち東京を復活させることを目標の冒頭に掲げています。魅力あるまちを創造し、人々の心を豊かにするためには、豊かな水辺を創出していくことが不可欠です。

恵まれた水環境を次世代に伝えるために、今後も市民ボランティアと連携した取組みにより、「緑と清流のまち日野」がますます発展する事を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成20年6月12日  
東京都知事 石原 慎太郎



# 受賞者へお祝いの言葉

## 静岡県立静岡農業高等学校 第10回日本水大賞奨励賞受賞祝辞

静岡県立静岡農業高等学校の栄えある日本水大賞奨励賞の受賞、誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

このたびの受賞は、近年、地球温暖化の加速が懸念される中、安倍川水系の特産品であるワサビを夏季の高温から守り、清流のみで見ることのできる水耕文化の消滅を防ぐべく、安倍川の水資源を活用した「水力発電・光触媒」による新たな施設園芸技術を提案・確立し、それを地域に普及させたことが高く評価されたものと伺っております。

これまでも、安倍川水系から黒潮までの水循環をテーマとした総合教育実践を行う中で、平成15年度からの安倍川上流・大谷崩での砂防学習（山腹工（再生紙鉢でヤシャブシ500本植栽））などを経て、平成17年度からは安倍川の水耕文化保護に取り組み、安倍川水系から黒潮までの水循環に関する生徒の教養を深めると共に、水循環に寄与できる人材育成を試みてこられました。

このような皆様の活動は、県政の基本理念である「富国有徳 創知協働」に通じるものであり、「環境の世紀」を拓く活動の輪となることを期待いたします。

結びに、日本水大賞の運営に携わる社団法人日本河川協会を始め関係の皆様には厚くお礼申し上げますとともに、静岡農業高等学校の皆様は今後ますますの御活躍を祈念しまして、お祝いの言葉といたします。

平成20年6月12日  
静岡県知事 石川 嘉延

## 祝 辞

大和信用金庫様、第10回日本水大賞「奨励賞」の受賞、おめでとうございます。名誉ある賞を受賞され、心よりお祝い申し上げます。

大和川は、流域の年間降水量が少なく、山地面積も少ないために河川流量が乏しく、さらに都市化の進展に伴って水質が悪化しやすい状況にあります。大和川の水質汚濁原因の80%以上を家庭からの生活排水が占めていることから、大和川の水質改善について住民の皆様に関心を持っていただくことが非常に重要です。

そのような状況の中で大和信用金庫様の発売された、大和川の水質が改善されれば預金金利が上がるという金融商品の発想は、ユニークかつ分かりやすく、多数の住民の皆様が大和川に関心を持っていただけたのではないかと考えております。また河川清掃や「大和川流域生活排水対策社会実験」への参加など、地域に密着し貢献する活動もしていただきました。

今回の受賞は、平成22年（2010年）の平城遷都1300年を目前に控え、大和川再生の気運のさらなる高まりに資するものと考えております。全国にも例を見ない画期的な取り組みに励まれました関係の皆様のご尽力に敬意を表し、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成20年6月12日  
奈良県知事 荒井 正吾

# 受賞者へお祝いの言葉

## 祝 辞

「第10回日本水大賞」審査部会特別賞を受賞された、八郎太郎プロジェクト潟船保存会の皆様、受賞おめでとうございます。

八郎湖は干拓によって残存した湖で、大潟村をはじめとする隣接市町の農業用水として利用されておりますが、干拓事業が完了した以後、徐々に富栄養化が進行し、水質環境基準が確保できない状況が続いております。

保存会の皆様におかれましては、八郎湖の原風景と水質浄化に向け、地元の方々と共同で粗朶消波づくりや水草の植付けを行い、再生に関心のある人々を集めフォーラムを開く等、秋田県の象徴的な湖の再生に向け積極的に尽力されており感謝申し上げます。

今後は、皆様方と手を携えながら八郎湖の再生に向け努力してまいりたいと考えておりますので、今回の受賞を励みにますます活動の輪が広がることを期待するとともに、八郎湖の再生活動を根気よく継続して頂き、一人でも多くの県民が関心を持つようになることを期待し、お祝いの言葉といたします。

平成20年6月12日  
秋田県知事 寺田 典城



# 受賞者へお祝いの言葉

## 祝 辞

広島県立広島国泰寺高等学校理数ゼミ生物班の皆さん、栄えある「2008日本ストックホルム青少年水大賞」の受賞を、心からお祝い申し上げます。

この度の受賞は、世界最大の両生類で「生きた化石」といわれ、我が国の特別天然記念物でもあるオオサンショウウオの進化の道筋を明らかにし、人工繁殖・野生復帰のあり方を示唆することにより、世界の水環境の維持・改善に大きく寄与したことが、高く評価されたものであります。

また、オオサンショウウオのDNA塩基配列を基に遺伝子音楽の作成にも取り組まれ、その清流を感じさせるメロディが多くの人々に、希少種のオオサンショウウオと生息環境の保全に対する関心を高める効果があったことは、誠に特筆されるべきことです。

広島県立広島国泰寺高等学校理数ゼミ生物班の皆さんには、これまでの優れた研究成果をもとに、さらに、世界スケールで水環境保護に貢献されることを期待し、お祝いの言葉といたします。

平成20年6月12日  
広島県知事 藤田 雄山

## 「2008日本ストックホルム青少年水大賞審査部会特別賞」受賞祝辞

高川学園中学・高等学校の皆さん、「2008日本ストックホルム青少年水大賞審査部会特別賞」の受賞、誠におめでとうございます。

皆さんの研究は、山口県の豊かな自然をフィールドとして、日常の授業内容を更に発展・高度化させながら、提言という形で社会に働きかけることによって、学問を実践的に活用したものであり、この度の受賞も、このような優れた姿勢が評価された結果であると思います。

皆さんの受賞は、高校生だけでなく広く一般県民の方々にも、安らぎの場であり、様々な生物の貴重な生息場所であり、水資源そのものでもある本県の清らかな河川が、近年の都市化の進展や地球環境の悪化により、どんなに変化し危険な状態にあるかということを感じさせてくれたことと思います。

今回の受賞を励みに、今後も是非このような研究を続けていただきたいと思います。

終わりに、運営に御尽力されました社団法人日本河川協会をはじめ、関係者の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、本賞の今後の一層の盛況を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成20年6月12日  
山口県知事 二井 関成